

岐阜日石グループ

7

つの行動指針

- 1 明るい挨拶と清潔な身だしなみを徹底しよう
- 2 お客様に対しても、仲間に対しても気配りをしよう
- 3 真摯な姿勢を追求しよう
- 4 自ら考え、自らの意見を発信しよう
- 5 仕事を充実させ、プライベートも充実させよう
- 6 自己管理を徹底しよう
- 7 コンプライアンス（法令順守）を徹底しよう

1

明るい挨拶と清潔な身だしなみを徹底しよう

我々は接客業であり、サービス業である。お客様に気持ちよく感じていただくことが重要。

お客様はもちろん、取引先、上司、部下、同僚、そして家族にも、自分から最初に明るく最高の挨拶をしよう。

挨拶とは、「心を開いて相手の心に近づく」という意味がある。明るい挨拶は相手とのコミュニケーション、すなわち心の交流を促す。

そして、身だしなみは乱れてはいけけない。不潔ではいけけない。

乱れているかどうか、不潔かどうかを判断するのは「お客様」であり、「他者」である。

「他者」からみて身だしなみが乱れていないか、不潔に感じられないか、常に意識しよう。

そして、仲間の身だしなみが整っていないと感じたら、あるいは清潔感を無くしていると感じたら、遠慮なく指摘しよう。

指摘されたら、「指摘する側も気を使ってくれているんだ」という感謝の気持ちで自分を見直そう。

2

お客様に対しても、仲間に対しても気配りをしよう

お客様にこちらの考えを押し付けるようなことはあってはならない。

お客様が要望していることは何か。常に気を配ろう。

そして、お客様が要望していることだけでなく、プロとして、それ以上に喜んでいただけるアドバイス、提案をする努力をしよう。

仲間に対して常に気を配ろう。

我々は一人で仕事をしているのではない。仲間がいるから、自分の役割を果たすことができる。

自己中心的であってはならない。自分都合優先であってはならない。

仲間感謝の気持ちをもって、仲間が困っていたら手を差し伸べよう。仲間が喜んでいたら一緒に喜ぼう。

3 真摯な姿勢を追求しよう

「真摯」とは、まじめでひたむきなことをいう。

我々は仕事をして報酬を得ている。つまり「プロ」である。

「プロ」であるからには、

仕事に対して常に真摯な姿勢で向き合わなくてはならない。

誠心誠意仕事に取り組まなければならない。

行動しよう。何もしなくて何も起こらないよりも、行動して失敗しよう。

失敗しても、成功のために努力を続けなければよい。

ただし、同じ失敗は繰り返し返してはならない。

失敗したら、「なぜ失敗したのか」を考えて、次の行動に生かしていこう。

その経験が血となり肉となる。

現状満足してはならない。常に、さらに上を目指さなければならない。

仕事力を高めるため、常に自己成長を求め、研鑽しなければならない。

4 自ら考え、自らの意見を発信しよう

何事も、自分でまず考えてみよう。

「どうしたらいいですか？」ではなく、「自分は〇〇だと考えるのですが、いかががでしょうか」と言おう。

上司が、部下が、同僚が、お客様がすべて正しいとは限らない。

何が正しいことなのか、自分で考える習慣を身につけることが、組織全体のレベルアップにつながっていく。

そして、いくら考えていても、言葉にして発しないと他者には伝わらない。

いくら考えていても、発言をしなければそれは「考えていない」と同じである。

自分の考えを発信しよう。

考えを発信すると、異なる意見や反論に会うこともあるだろう。しかし、そこで発信をやめてはならない。前向きに意見交換を続けることで、よりよい結論にたどり着くことができる。納得するまでやめてはならない。あきらめてはならない。

5

仕事を充実させ、プライベートも充実させよう

「充実」は、目標を持ち、それに向かって全力を尽くしているとき、努力を続けているときに得られるものである。

人生の大半は仕事をして過ごしているのだから、仕事そのものを充実させることが、人生を充実させることにつながっていく。

「充実」は、日々を惰性で過ごしては感じることはできない。

「充実」は、働いた時間が長いからといって得られるものではない。

仕事が充実していなければ、いくら多くの余暇を過ごしても本当の充実感は得られない。

充実した仕事を続けることで、人間として成長し、周囲から信頼を得られるようになり、やがてよりよい仕事、人生につながっていく。

仕事に目標を持ち、全力を尽くそう。

そして、充実した人生を送ろう。

6 自己管理を徹底しよう

我々は「プロ」である。

常に最高のパフォーマンスを発揮できるように、常に自己管理を徹底しなければならぬ。

時間にルーズであってはならない。

時間を守ることは、周囲の信頼を得る一番の近道であり、時間にルーズなことは、周囲の信頼を失う一番の近道。

健康管理を怠ってはならない。

体調不良だと、プロとしての責任は果たせない。

自分のカラダの状態を正しく把握し、常に最良の状態を保つための努力を続けよう。

7

コンプライアンス(法令順守)を徹底しよう

我々は車のプロである。

我々は、岐阜を代表する企業である。

地域社会の見本となる、コンプライアンスの徹底した企業でなくてはならない。

自分たちだけでなく、顧客や取引先に対しても、違法行為に手を出してはならない。

社会秩序や道徳に反することはしてはならない。

不正取引をしてはならない。

不正は絶対にあつてはならない。不正は許されてはならない。

法律、就業規則、職場のルールなど、すべては「守る」ためにある。

組織の秩序を保つためにも、コンプライアンスを徹底しなければならない。

判断に迷ったときは、「グレー」であればそれは「クロ」であり、やってはならない。